

歴史に憩う橿原市博物館 館報3

平成28年度



2017（平成29）年8月

ごあいさつ

権原市には、原始以来の先人の営みが大地に刻まれた、史跡新沢千塚古墳群、特別史跡藤原宮跡や、江戸時代の建造物が数多く建ち並び、当時の町並みを今に伝える重要伝統的建造物群保存地区今井町をはじめとする、優れた歴史遺産が随所にみられます。

本市では、このような貴重な文化財の保護と活用に取り組んでおり、2014（平成 26）年 4 月に、新沢千塚古墳群公園整備事業の先駆けとして、「歴史に憩う権原市博物館」を開館いたしました。

博物館の前身は、1976（昭和 51）年の新沢千塚古墳群の史跡指定が契機となり、財団法人大和歴史教育センターが建設され、1978（昭和 53）年に開館しました権原市千塚資料館です。

博物館は先の資料館と同様に、隣接する新沢千塚古墳群のサイトミュージアムとしての位置付けはもちろんですが、本市を代表する縄文時代の終わり頃から江戸時代までの、二千数百年にわたる遺跡出土資料の展示を通して、本市の歴史の息吹を体感しながら楽しく学んでいただくことをモットーにしております。

また、来館者一人一人に合う展示資料の紹介と、本市の豊かな歴史遺産への訪問をサポートする、斬新なパーソナルガイドを全国で初めて設置しました。

これからは、魅力溢れる博物館の創造を目指してまいりますので、皆様の幾度とないご来館をお待ちしております。

2017（平成 29）年 8 月

歴史に憩う権原市博物館

目 次

1. 施設の概要	1
2. リニューアルオープンに至る経緯と館の名称	4
(1) リニューアルオープンに至る経緯と経過	4
(2) 檜原市千塚資料館から歴史に懇う檜原市博物館への改称	4
(3) 展示の方針	4
3. 展示	5
(1) 常設展示室	5
(2) 特別展示室	6
(3) ロビー展示	6
4. 特別展・企画展・ロビー展	7
5. 体験講座、檜原市イベント	13
6. 定期講座	15
7. 学校等校外学習、視察・研修、職場体験学習、 夏休み小・中学校生徒自主学習及び資料調査の受け入れ	16
8. ボランティアガイドスタッフによる解説	18
9. 観覧者	19
10. 歴史に懇う檜原市博物館メモリアルウィーク	20
11. 所蔵資料の活用	20
12. 刊行物一覧	24
13. 出前講座等	24
14. 利用案内	26
15. 条例、規則	27

1. 施設の概要

歴史に憩う樋原市博物館は、1978（昭和 53）年 12 月 3 日に開館した樋原市千塚資料館を改修し、名称も「歴史に憩う樋原市博物館」に改め、2014（平成 26）年 4 月 1 日にリニューアルオープンした博物館である。建物は鉄筋コンクリート造りの中 3 階 2 階建である。面積は 1 階 629.53 m²、2 階 603.74 m²、中 3 階 37.83 m²で、全体の延べ床面積は 1,271.10 m²である。歴史に憩う樋原市博物館は、樋原市教育委員会生涯学習部歴史に憩う樋原市博物館の所管である。

歴史に憩う樋原市博物館の概要

名称	歴史に憩う樋原市博物館	
所在地	樋原市川西町 858 番地の 1	
建物展示改修設計費	7,119,000 円	
建物展示改修設計者	(株)樹谷設計	
建物改修工事費	285,440,190 円	
建物改修施工者	(株)鍛治田工務店・(株)平成建設特定建設工事共同体	
展示改修工事費	155,400,000 円	
展示改修施工者	(株)乃村工藝社	
面積	1,271.10 m ²	
	・展示室（2 階）	
	常設展示室 1（かしらの夜明け）	28.23 m ²
	常設展示室 2（新沢千塚とその時代・藤原京の世界）	175.00 m ²
	常設展示室 3（京との訣別 - 新たな歩み - ）	44.10 m ²
	特別展示室（特別展・企画展開催）	77.44 m ²
	ガイダンスホール	28.28 m ²
	エントランスホール（受付含）	70.12 m ²
	廊下	51.58 m ²
	スタッフルーム	13.83 m ²
	図書閲覧コーナー	21.17 m ²
	授乳室	6.94 m ²
	機械室	15.34 m ²
	その他	71.71 m ²
	・収蔵庫・事務室等（1 階）	
	特別収蔵庫	37.50 m ²
	収蔵庫	70.40 m ²
	体験スタジオ	37.50 m ²

事務室	67.50 m ²
資料整理室1（図面作成・資料管理等）	36.44 m ²
資料整理室2（遺物整理）	61.13 m ²
会議室1	16.80 m ²
会議室2	17.16 m ²
ロビー	100.00 m ²
荷解場（借用資料搬入出）	36.38 m ²
機械室	13.50 m ²
その他	135.22 m ²
・中3階	
その他	37.83 m ²



消火設備 ハロゲン化物消火（特別展示室・特別収蔵庫）

映像 ガイダンスホール…60型モニター1台・19型タッチパネルモニター填め込みタッチパネル

2台（「かしはらの魅力」信仰のかたち～陵墓・社寺・大和三山～、歴史の面影～遺跡と風景～ 各3分・「あなたへのおすすめガイド」）

常設展示室 2（新沢千塚とその時代・藤原京の世界）…大型スクリーン（「新沢千塚とその時代」・「藤原京の世界」各3分）

グラフィック 20枚…ガイダンスホール4枚、エントランスホール3枚、常設展示室1（かしは

らの夜明け) 3枚、常設展示室2(新沢千塚とその時代・藤原京の世界) 7枚、常設展示室3(京との訣別 - 新たな歩み -) 3枚

壁面説明パネル 12枚…常設展示室1(かしはらの夜明け) 4枚、常設展示室2(新沢千塚とその時代・藤原京の世界) 3枚、常設展示室3(京との訣別 - 新たな歩み -) 5枚

台上説明パネル 55枚…常設展示室1(かしはらの夜明け) 9枚、常設展示室2(新沢千塚とその時代) 13枚・(藤原京の世界) 11枚、常設展示室3(京との訣別 - 新たな歩み -) 22枚

台上クイズパネル 16枚…常設展示室1(かしはらの夜明け) 4枚、常設展示室2(新沢千塚とその時代) 4枚・(藤原京の世界) 4枚、常設展示室3(京との訣別 - 新たな歩み -) 4枚

展示資料キャプション 31枚

展示資料ナンバー表記物 258個

常設展示室・特別展示室ケース・ステージ

展示室(室名)	ケース等	数量	寸法(mm)		
			W	D	H
展示室1 かしはらの夜明け	据付壁面L型ステージ	1	1200	9000	750
展示室2 新沢千塚とその時代 藤原京の世界	据付壁面ステージ	1	1200	9000	750
	据付壁面半楕円型ステージ	1	1200	16760	750
	行灯ケース	3	600	600	2100
	薄型5面ガラスケース	6	350	800	2700
展示室3 京との訣別	据付コ字型ステージ	1	900	14400	750
特別展示室	据付壁面ケース(エアタイト)	1	1400	6750	3000
	行灯ケース(エアタイト)	1	900	900	2100
	5面ガラスケース(エアタイト)	3	1200	1800	2700
	平覗きケース(エアタイト)	2	900	1800	1050

2. リニューアルオープンに至る経緯と館の名称

(1) リニューアルオープンに至る経緯と経過

2011（平成23）年 7月26日 千塚資料館大規模改修工事基本・実施設計着手
2012（平成24）年 2月29日 千塚資料館大規模改修工事基本・実施設計完了
2012（平成24）年 6月21日 千塚資料館大規模改修工事着工
2012（平成24）年 7月27日 千塚資料館展示改修業務着手
2012（平成24）年 10月 31日 千塚資料館展示ケース製作及び設置業務着手
2013（平成25）年 3月15日 千塚資料館大規模改修工事完了
2013（平成25）年 12月 26日 檜原市千塚資料館から歴史に憩う檜原市博物館に改称
2014（平成26）年 2月21日 千塚資料館展示改修業務・展示ケース製作及び設置業務完了
2014（平成26）年 3月29日 リニューアルオープン記念式典
2014（平成26）年 4月 1日 リニューアルオープン
2014（平成26）年 7月 2日 博物館法に規定する登録博物館原簿に登録（第15号）

(2) 檜原市千塚資料館から歴史に憩う檜原市博物館への改称

博物館は先の資料館と同様に、隣接する新沢千塚古墳群のサイトミュージアムとしての位置付けはもちろんのこと、本市を代表する縄文時代の終わり頃から江戸時代までの、二千数百年にわたる遺跡出土資料の展示を通し、本市の歴史の息吹を体感しながら楽しく学ぶことができる「地域に根ざした博物館」を理念に事業を着実に展開していくことを目指した。

そして、奈良県立檜原考古学研究所 菅谷文則所長から、“人と人のつながりの真ん中に歴史があり、歴史を体感できる博物館として、まさに市民のサロンとなるよう。”との想いを表す「歴史に憩う博物館」の館名をご提案いただき、「千塚資料館」から「歴史に憩う檜原市博物館」に改称した。

(3) 展示の方針

常設展示、特別展・企画展、ロビー展示を以下の方針を定め、おこなうこととする。

1. 檜原市の歴史文化を語るうえで新沢千塚古墳群と藤原宮跡を中心に造営されたわが国最初の都城藤原京がもっとも重要であることから、これら二つの歴史遺産を骨格に、この地に人が暮らし始めた縄文時代から江戸時代までの歩みを遺跡出土資料・グラフィック・パネル・映像を用いて紹介し、見学者に本市の豊かな歴史文化に親近性を抱いてもらう。
2. 展示資料は基本的に檜原市の所蔵品で構成し、一部を他機関から借用する。
3. 展示資料は実物資料を原則とする。ただし、本市の歴史文化を語るうえで不可欠な資料であって、他機関所蔵で借用が不可能である場合においては、復原模造品・レプリカとする。
4. 見学者が展示資料を間近に鑑賞することで、展示資料がもつ造形美や質感を感じじ得るようにする。ただし、脆弱な展示資料に限って最小限度の小ケースを用いる。

5. 展示資料と同等の実物資料に直接触れるコーナーを設置することで、見学者が展示資料をより深く観察し、製作者の思いや当時の社会の息吹を体感できるようにする。
6. 特別展示室では、本市の歴史に関わる各地の重要な資料を展示する特別展や企画展をおこなう。
7. 常設展示とは別にロビー展示をおこなうことで、些細な歴史事象についても関心を抱いてもらえるようにする。
8. 展示の解説は、ボランティアガイドスタッフと協力しておこなう。

3. 展示

(1) 常設展示室

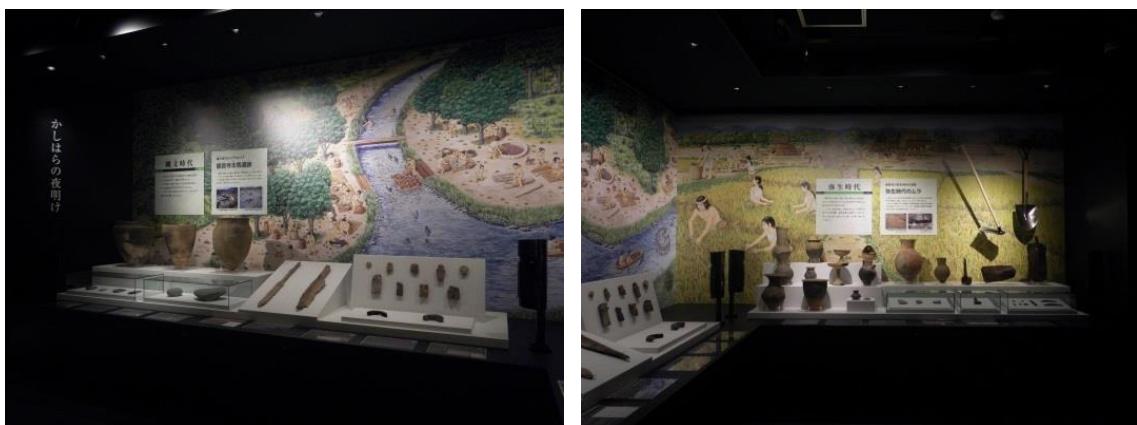
展示室の概要

常設展は樋原市が歩んできた歴史のなかで、本市はもとより日本の歴史を語るうえで最も重要な歴史遺産である新沢千塚古墳群、藤原京を中心とした中核に据えながら、本市に人々が集住し始めた縄文時代晚期から江戸時代までの通史を紹介し、見学者に本市の豊かな歴史・文化を感じていただけるものとしている。

展示室は3室で構成され、展示総面積は247.33 m²、展示資料の総点数は831点である。このうち実物資料382点（奈良県立樋原考古学研究所付属博物館借用資料30点を含む。）、復原模造品444点、レプリカ3点、模型1点、標本（菖蒲池古墳土層断面剥ぎ取り）1点である。

各展示室にはコーナータイトルを付け、見学者に展示意図を明快に伝わるようにしている。

常設展示室1 コーナータイトル「かしらの夜明け」と題し、本市に人が集住し始めたことが明らかである縄文時代晚期から、稻作の開始によりこの地が豊かに発展する土壤を築いた弥生時代の歴史を紹介する。



常設展示室2 最大の展示面積を有す室で、古墳時代と日本初の本格的な都城である藤原京を紹介する。古墳時代はコーナータイトル「新沢千塚とその時代」と題し、新沢千

塚 126 号墳復原模造品（現品は重要文化財で東京国立博物館所蔵）を中心に一部新沢千塚古墳群の実物資料（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館から借用）を含め朝鮮半島との交流を示す資料、古墳時代の終焉を示す植山古墳出土資料展示により古墳時代の歴史を紹介する。

日本初の本格的な都城である藤原京に焦点をあて、コーナータイトル「藤原京とその世界」と題し、現代に続く社会の規範を築き上げたことを紹介する。



常設展示室 3 コーナータイトル「京との訣別 - 新たな歩み - 」と題し、平城京遷都後、この地で織り成された奈良時代から江戸時代の歴史を紹介する。



（2）特別展示室

本市が歩んできた歴史の一端を表す資料を素材に、各地で出土した関連資料の一体的な展示を通して、歴史における共通性や地域毎の独自性を分かりやすく紹介し、わが国の豊かな歴史・文化を身近に感じていただけるようにする。展示は、特別展、企画展を合わせて年3回以上開催する。

（3）ロビー展示

文化財課の協力により、本市がこれまでに実施した埋蔵文化財発掘調査の成果速報や出土資料のなかで特定資料に焦点をあてたロビー展示を整理室 2（遺物整理）でおこない、見学者に本市の歴史の一コマを感じてもらえるようにする。

4. 特別展・企画展・ロビー展示

特別展 1 回、企画展 3 回、博学連携企画展 1 回、ロビー展示 3 回（平成 29 年度～継続分 1 回）を下記のとおり開催した。

（1）春季特別展 「宮崎市の古墳」

〔内 容〕 神武天皇とゆかりのある本市と姉妹都市盟約を締結する宮崎市には、九州最大の前方後円墳を含む史跡生目古墳群をはじめとする多くの古墳がある。本展覧会は、権原市制 60 周年宮崎市姉妹都市 50 周年記念事業として、九州地方を代表する史跡生目古墳群や下北方地下式横穴第 5 号を代表とする地下式横穴墓の出土品を通して、宮崎市の古墳文化について紹介する。

〔期 間〕 2016（平成 28）年 4 月 1 日（金）
～5 月 29 日（日）

〔観覧者〕 1,654 人

〔展示構成〕 展示コーナー1. 生目古墳群

展示コーナー2. 下北方地下式横穴第 5 号

展示コーナー3. 下北方地下式横穴墓の世界

展示資料総点数 112 点 ※展示資料は全て宮崎市教育委員会蔵

展示コーナー1. 生目古墳群 9 点

生目 5 号墳出土品 墳輪 2 点

生目 7 号墳出土品

須恵器 4 点（脚台付壺 1 点、脚台付壺の蓋 1 点、筒形器台 1 点、陶質土器脚台付鉢 1 点）

生目 5 号墳 19 号地下式横穴墓出土品

土師器 3 点（甕 1 点、壺 1 点、高坏 1 点）

展示コーナー2. 下北方地下式横穴第 5 号 95 点

下北方地下式横穴 5 号出土品

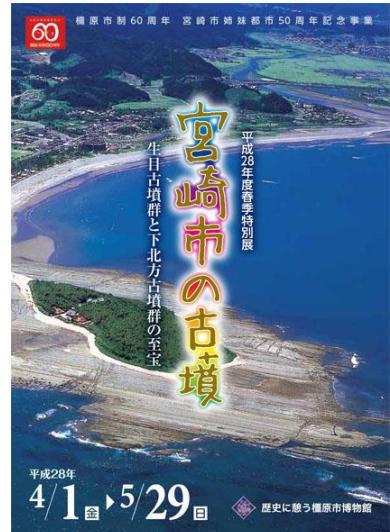
鏡、装身具、武器、武具、馬具、農工具 95 点、

鏡（変形獸形鏡 1 点、変形紋鏡 1 点）

装身具（勾玉 7 点、管玉 14 点、変形半円形玉 2 点、大形丸玉 57 点、金製垂飾付耳飾 2 点、三環鈴 1 点）

武器（剣 2 点、直刀 1 点（演示台付）、鉾 2 点）

武具（横矧板鉢留短甲 1 点（演示台付）、眉庇付冑 1 点）



馬具（馬鐸1点）、農工具（手斧1点、鉄斧1点）

展示コーナー3. 下北方地下式横穴墓の世界 8点

下北方5号墳周辺遺跡地下式横穴墓ST-12出土品

須恵器3点（壺1点、壺蓋1点、壺身1点）

下北方1号墳周辺遺跡地下式横穴墓ST-15出土品

土師器1点（壺）

下北方1号墳周辺遺跡地下式横穴墓ST-16出土品

土師器3点（甕1点、丸底壺1点、高壺1点）

下北方1号墳周辺遺跡地下式横穴墓ST-17出土品

ガラス小玉一式

〔講演会〕

場 所 クリーンセンターかしら3階研修室

新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）教室3

時 間 午前10時30分から午後0時

開催日と講師及び講演名

2016（平成28）年4月3日（日）

吉村和昭氏（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 指導学芸員）

「宮崎の古墳文化」

2016（平成28）年5月22日（日）

西嶋剛広氏（宮崎市教育委員会文化財課 主任技師）

「宮崎市の古墳と古墳時代」

聴講者 140人

〔関連イベント〕

「学芸員と歩く桜満開、新緑の新沢千塚」

開催日時 2016（平成28）年4月3日（日）、同5月22日（日）午後2時から午後3時

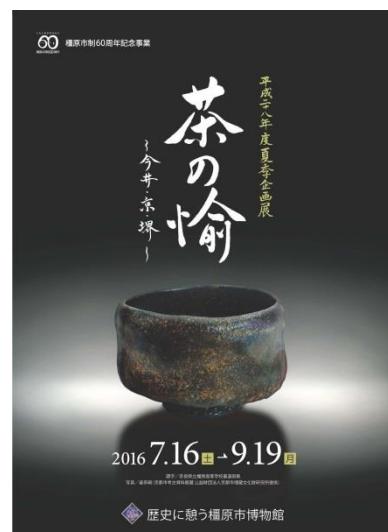
場 所 国指定史跡新沢千塚古墳群

参加者 56人

（2）夏季企画展「茶の愉～今井・京・堺～」

〔内 容〕 茶の文化は、長い年月をかけて私たちの生活には欠かせないものとなった。古代に中国から日本に伝わった茶は当初、限られた人々のものであった。その後、喫茶の広がりや千利休による茶の湯の完成により、日本における文化の一つとして定着していった。

中世の文化都市であった奈良・堺・京都は、茶



の文化が花開いた地である。なかでも千利休をはじめとする数々の茶人を輩出した堺市にある国登録有形文化財の茶室「黄梅庵」は、江戸時代に今井の豊田家にあった茶室を昭和初期に移築したものであり、本市の茶の文化をうかがい知ることができる文化財である。

今回の展示は常設展示室3 今井寺内町遺跡出土資料と連動した企画展として、先の3都市のうち堺・京都で出土した茶陶を展示し、茶の文化について紹介する。

〔期 間〕 2016（平成28）年7月16日（土）～9月19日（月・祝）

〔観覧者〕 1,735人

〔展示構成〕 展示コーナー1. 堀の茶碗

展示コーナー2. 京の茶碗

展示コーナー3. いろいろな茶道具

展示資料総点数 27点 ※展示資料後の()内は資料の帰属する機関

展示コーナー1. 堀の茶碗 6点

唐津茶碗1点、瀬戸黒茶碗1点、志野茶碗1点、黒織部沓茶碗1点、中国製青磁茶碗1点、李朝彫三島茶碗1点（堺市教育委員会蔵）

展示コーナー2. 京都の茶碗 11点

瀬戸黒茶碗1点、黄瀬戸茶碗1点、志野茶碗1点、練志野茶碗1点、織部沓茶碗1点、黒織部沓茶碗1点、織部茶碗1点、楽茶碗1点、唐津沓茶碗1点、唐津茶碗1点、備前沓茶碗1点（京都市蔵、京都市埋蔵文化財研究所蔵）

展示コーナー3. いろいろな茶道具 10点

タイ製香合（身・蓋）各1点、備前花入1点、備前茶入1点、鉄釜1点、伊賀水指（身・蓋）各1点、ベトナム製建水1点、中国製赤絵鉢1点、中国製染付鉢1点（堺市教育委員会蔵）

〔講演会〕

場 所 新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）教室3

時 間 午後1時30分～午後3時00分

開催日と講師及び講演名

2016（平成28）年7月23日（土）

神津朝夫 氏（茶道史家）

「桃山時代の茶の湯」

2016（平成28）年9月4日（日）

續伸一郎 氏（堺市博物館 主幹）

「「茶の湯」を考古学する」

聴講者 100人

〔関連イベント〕

「茶の湯 釜工房見学」

開催日 2016（平成28）年7月27日（水）

場所 川邊庄造先生 工房

講師 川邊庄造氏（茶の湯釜師）

参加者 15人

「My茶筅作り体験」

場所 竹茗堂左文 工房

講師 久保左文氏（竹茗堂左文 伝統工芸士）

開催日 2016（平成28）年9月10日（土）

参加者 21人

（3）秋季企画展「シリーズ「千塚」① 巨勢山古墳群」

〔内容〕 史跡新沢千塚古墳群は、日本を代表する群集

墳としてその名を知られている。群集墳とは、古墳時代中期後半から古墳時代後期にかけて小規模の古墳が丘陵地に密集して分布する形態の古墳群を指すもので、新沢千塚古墳群以外にも県内・外でも確認されている。

本展覧会は、本市に隣接する葛城地域の千塚（群集墳）のうち、巨勢山古墳群を紹介する。

展覧会を通し、巨勢山古墳群の特質と、新沢千塚古墳群との違いを知ることで、新沢千塚古墳群の特徴を理解しようとするものである。

〔期間〕 2016（平成28）年10月29日（土）～12月18日（日）

〔観覧者〕 1,126人

〔展示構成〕 展示コーナー1・2 巨勢山古墳群の古墳

展示コーナー3 巨勢山古墳群前史 宮山古墳（室大墓）

この他にパネル展示で、條ウル神古墳、掖上罐子塚古墳の紹介

展示資料総点数80点 ※展示資料後の()内は資料の帰属する機関

巨勢山第408号墳（御所市教育委員会）11点

須恵器、土師器ミニチュア土器、馬具

巨勢山第371号墳（御所市教育委員会）20点

須恵器、鉄製農具、鉄製武器、馬具、ガラス小玉

巨勢山第773号墳（御所市教育委員会）22点

須恵器、土師器、琥珀製玉、銀製指輪、鉄製武器、馬具、農工具

宮山古墳（御所市教育委員会）5点

陶質土器、竜山石



宮山古墳（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館）22点

漢式鏡、勾玉、棗玉、杵形石製品、石製刀子、管玉

[講演会]

場 所 クリーンセンターかはら3階研修室

新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）教室3

時 間 午後1時30分～午後3時00分

開催日と講師及び講演名

2016（平成28）年11月19日（土）

白石太一郎氏（大阪府立近つ飛鳥博物館 館長）

「巨勢山古墳群と室宮山古墳群～大型群集墳出現の意味を考える～」

2016（平成28）年11月23日（水）

藤田和尊氏（御所市教育委員会文化財課 課長）

「葛城縣と巨勢山古墳群」

2016（平成28）年11月23日（水）

木許守氏（御所市教育委員会文化財課 課長補佐）

「古墳時代の須恵器の流通—巨勢山古墳群出土資料から見えること—」

聴講者 269人

[関連イベント]

「学芸員とめぐる新沢千塚古墳群」

開催日時 2016（平成28）年12月11日（日）午後2時から午後3時30分

場 所 国指定史跡新沢千塚古墳群

参加者 34人

（4）博学連携企画展 奈良県立橿原高等学校×歴史に憩う橿原市博物館

「高校生、石で肉をさばいてみました！」

[内 容] 当館活動の理念に、「地域に根ざ

した博物館」と「学校教育との連携」がある。

そこで、奈良県立橿原高等学校と連携し、同校考古学研究部員を中心とする生徒が製作した石器による実験報告やイラスト、当館所蔵資料等を用い、縄文時代の暮らしを小学生にもわかりやすく紹介する。



[期 間] 2017 (平成 29) 年 2 月 11 日 (土・祝) ~ 年 3 月 12 日 (日)

[観覧者] 581 人

[展示資料] 奈良県立橿原高等学校考古学研究部製作復原資料及び当館所蔵資料、イラストパネル

[関連イベント]

「ワークショップ 高校生プロデュース！ワクワクドキドキ じょうもん村」

高校生による「縄文時代の紙芝居」・「弓矢での的当て体験」・「石器使用体験」・「サファイアをさがせ」・「展示解説」。スタンプラリー

開催日時 2017 (平成 29) 年 2 月 11 日 (土・祝)、3 月 11 日 (土) 午前 10 時 ~ 午後 0 時

場 所 歴史に憩う橿原市博物館

参 加 者 129 人

「体験講座つき講演会「縄文時代を描いてみよう」」

開催日時 2017 (平成 29) 年 3 月 5 日 (日) 午後 1 時 ~ 午後 4 時

場 所 新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）教室 3

講 師 早川和子氏（考古イラストレーター）

参 加 者 21 人

(5) ロビー展 1 「鍋の歴史」

[内 容] 人々が土器を発明して以来、行ってきた調理方法に煮炊きがある。その道具である深鉢や甕は、時代を経るとともにその形状が変化し、現在に至る。最も身近なテーマである食にスポットを当て、調理具の変遷の紹介を通して昔の人々の暮らしの一端を紹介する。



[期 間] 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日 (金) ~ 9 月 25 日 (日)

[観覧者] 687 人

[展示資料] 展示資料総点数 6 点

市内出土の縄文時代・弥生時代・古墳時代・飛鳥時代・中世の煮炊き具

(6) ロビー展 2 「藤原京・慈明寺遺跡速報」

[内 容] 2015 (平成 27) 年度に文化財課が実施した発掘調査のうち、藤原京右京五条七・八坊、慈明寺遺跡の発掘調査では、藤原京に関わる遺構として、西七坊大路の他、藤原京の造営に伴い埋没した古墳を検出した。ロビー展でその成果を速報紹介する。



[期 間] 2016（平成28）年10月1日（土）～2017（平成29）年2月14日（火）

[観覧者] 370人

[展示資料] 展示資料総点数約20点

古墳時代・藤原京期の土器及び埴輪片

（7）ロビー展3 「新堂遺跡速報」

[内 容] 2016（平成28）年度に文化財課が実施した発掘調査のうち、新堂遺跡の発掘調査では、確認された河川跡から朝鮮半島と繋がりのある初期須恵器が大量に出土した。ロビー展で、その内容の一部を速報紹介する。



[期 間] 2017（平成29）年2月15日（水）～2017（平成29）年6月30日（金）

[観覧者] 441人（2017（平成29）年3月31日時点）

[展示資料] 展示資料総点数50点

初期須恵器、土師器、韓式系土器、ミニチュア土器、紡錘車、轡羽口、砥石、刀形木製品、馬歯

5. 体験講座、樞原市イベント

「色を育てる・染める・使う」をコンセプトに染色や「土器の修復をしてみよう」の体験講座に加え、新たに本館に隣接するクリーンセンターや千塚拠点施設等が一体となって企画した樞原市イベント「千塚KoFun フェスタ」等を開催した。

体験講座

（1）藍染め「色を育てる・染める・使う～アイを贈ろう～」

場 所 歴史に憩う樞原市博物館

開催日 2016（平成28）年7月30・31日（土・日）

参加者 26人

（2）土器復元 博物館ドキドキ体験「土器の修復をしてみよう」

場 所 歴史に憩う樞原市博物館

開催日 2016（平成28）年8月9・10日（火・水）

参加者 34人

（3）どんぐり染め「色を育てる・染める・使う～どんぐりで染める秋色トートバッグ」

場 所 歴史に憩う樅原市博物館

開催日 2016（平成 28）年 11 月 13 日（日）

参加者 20 人

（4）古代的新楽器！？「コトレレを作ろう」

場 所 歴史に憩う樅原市博物館、千塚拠点施設シルクの杜教室 3

開催日 2017（平成 29）年 1 月 15 日（日）

参加者 29 人



藍染め



土器復元



どんぐり染め



コトレレを作ろう

樅原市イベント

（1）「かしほら探検隊」

場 所 香具山公園

開催日 2016（平成 28）年 10 月 22 日（土）

参加者 70 人

(2) 「千塚KoFun フェスタ」

場 所 クリーンセンター、千塚拠点施設シルクの杜、
ふれあいの里、歴史に憩う橿原市博物館
開催日 2016（平成28）年11月27日（日）
参加者 120人



6. 定期講座

「館長が講師に問う！橿原の歴史」と題して4回の講座を開催した。講師を務める本市文化財担当職員の自説に館長が台本なしで問い合わせ、「橿原の歴史」を探求する。

場 所 新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）教室3

時 間 午前10時30分～午後0時

開催日と講師及び講演名

第1回 2017（平成29）年1月21日（土）

杉山真由美（橿原市教育委員会生涯学習部文化財課 主査）「弥生時代のものづくり」

第2回 2017（平成29）年1月28日（土）

平岩欣太（橿原市教育委員会生涯学習部文化財課 統括調整員）「縄文のムラ」

第3回 2017（平成29）年2月18日（土）

石坂泰士（橿原市教育委員会生涯学習部文化財課 主査）「古墳時代の国際感覚」

第4回 2017（平成29）年3月20日（月・祝）

竹田正則（歴史に憩う橿原市博物館 館長）「藤原京の実態」

聴講者 132人



弥生時代のものづくり



縄文のムラ



古墳時代の国際感覚



藤原京の実態

7. 学校等校外学習、視察・研修、職場体験学習、夏休み小・中学校生徒自主学習及び資料調査の受け入れ

学校等校外学習及び各種団体の視察・研修、市内中学校2年生を対象に実施される職場体験を受け入れた。また、夏休み期間中に小・中学校生徒向け自主学習の場として会議室2を開放した。内訳は以下の通りである

(1) 学校等校外学習

- | | |
|---------------------|----------------|
| 2016（平成28）年4月28日（木） | 金橋小学校（85人）、 |
| 2016（平成28）年5月10日（火） | 奈良県立橿原高校（151人） |
| 2016（平成28）年5月12日（木） | 奈良県立橿原高校（132人） |
| 2016（平成28）年5月20日（金） | 畝傍東小学校（108人） |
| 2016（平成28）年6月14日（火） | 奈良大学（26人） |
| 2016（平成28）年7月1日（金） | 白橿北小学校（39人） |

2016（平成28）年10月29日（土）岡山大学（14人）

2016（平成28）年11月2日（水）大和高田市立菅原小学校（98人）

2017（平成29）年3月9日（木）奈良芸術短期大学（10人）



金橋小学校



檍原高校



欽傍東小学校



白檍北小学校習

（2）修学旅行学習

2016（平成28）年11月9日（水）東京都暁星中学校（39人）



暁星中学校

(3) 観察

- 2016（平成28）年4月3日（日） 宮崎市長、宮崎市議会議長
2016（平成28）年4月17日（日） 宮崎市議会（9人）
2016（平成28）年4月27日（水） 宮崎市副市長
2016（平成28）年10月18日（火） 土浦市議会文教常任委員会（9人）
2016（平成28）年10月27日（木） 愛知県小牧市（6人）
2016（平成28）年12月2日（金） 檜原市都市計画審議会（8人）

(4) 研修

- 2016（平成28）年5月15日（日） 檜原市商工会議所（畿央大学）（26人）
2016（平成28）年6月18日（土） 檜原市商工会議所（阪南大学）（10人）
2016（平成28）年10月21日（金） 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会（39人）

(5) 職場体験学習

- 2016（平成28）年11月8・9日（火・水） 八木中学校（3人）
2016（平成28）年11月10・11日（木・金） 大成中学校（3人）
2016（平成28）年12月8・9日（木・金） 嵩傍中学校（3人）
2016（平成28）年12月13・14日（火・水） 檜原中学校（3人）
2017（平成29）年1月31日・2月1日（火・水） 白樺中学校（2人）

(6) 夏休み自主学習（会議室2）

- 期 間 2016（平成28）年7月21日（木）～8月31日（水）
利用者 31人

(7) 資料調査

- 2016（平成28）年11月4・5日（金・土） 大阪大学文学研究科考古学専修 内藤元太
調査資料：新沢千塚166号墳出土埴輪
2016（平成28）年5月23日（月） 京都大学大学院文学研究科歴史文化学専攻 木村結香
調査資料：植山古墳出土馬具、南山4号墳出土馬具

8. ボランティアガイドスタッフによる解説

ボランティアガイドスタッフを募集し33人の登録があった。ガイドスタッフはスケジュール調整の上、活動可能な開館日に展示解説（常設展示、特別展、企画展）及び、校外学習や体験講座の支援を通して博物館の運営支援に携わっていただいた。活動実績は以下の通りである。

	開館日数	ガイド人数	観覧者
4月	26日	97人	451人
5月	26日	85人	1,212人
6月	26日	83人	158人
7月	27日	87人	308人
8月	26日	80人	425人
9月	26日	85人	491人
10月	26日	70人	348人
11月	26日	80人	836人
12月	22日	65人	280人
1月	24日	68人	182人
2月	24日	79人	400人
3月	27日	75人	443人
合計	306日	954人	5,534人

9. 観覧者

観覧者数（常設展示・特別展・企画展）は5,534人、内訳は以下の通りである。

開館 日数	有料観覧者	無料観覧者				合計			
		大人	学生	小人	大人	学生	小人	幼児	
4月	26	250	7	8	89	0	93	4	451
5月	26	347	8	27	384	300	125	21	1,212
6月	26	75	29	3	33	7	9	2	158
7月	27	154	6	7	68	0	70	3	308
8月	26	171	4	8	198	2	34	8	425
9月	26	416	19	12	39	0	0	5	491
10月	26	268	4	2	74	0	0	0	348
11月	26	265	11	39	452	0	41	28	836
12月	22	116	5	2	146	0	7	4	280
1月	24	104	3	4	52	0	16	3	182
2月	24	198	8	9	119	2	21	43	400
3月	27	275	15	17	96	0	23	17	443
合計	306	2,639	119	138	1,750	311	439	138	5,534

10. 歴史に憩う橿原市博物館メモリアルウィーク

博物館では、市民をはじめ多くの方々に博物館の周知と利用促進を図り、本市の歴史、文化について理解を深めていただけるよう、本市の文化遺産に係る記念日を基軸としたメモリアルウィークを創設し、その期間を観覧料無料とすることとした。

【記念日】

- ① 1月30日 「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」世界遺産暫定リスト掲載日
- ② 2月11日 建国記念日 神武天皇即位日
- ③ 3月31日 新沢千塚古墳群 国史跡指定日
- ④ 8月3日 大宝律令 制定日
- ⑤ 12月6日 藤原宮 遷都日

ただし、② 2月11日 建国記念日 神武天皇即位日は当日に限る。

11. 所蔵資料の活用

以下の資料を下記の機関に貸し出し、公開利用に寄与した。

(1) 資料の貸出 (平成28年度許可分)

No.	貸出先・期間	遺跡	資料名	点数	活用方法
1	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 [期間] 2016(平成28)年9月23日～2016(平成28)年12月9日	植山古墳、菖蒲池古墳	植山古墳 金銅製歩搖付飾金具 3、馬具1、水晶三輪 玉2、鈎尾2、凝灰岩 片1、須恵器3、阿蘇 溶結凝灰岩一括 菖蒲池古墳 磚2、須恵器3、土層 はぎとり1	19	平成28年度秋季特別展 「蘇我氏を掘る」 [展示期間] 2016(平成28)年10月8日～2016(平成28)年11月23日
2	太子町教育委員会 [期間] 2016(平成28)年8月16日～2016(平成28)年12月20日	菖蒲池古墳	堀割埋土出土須恵器坏 蓋片3、同坏身片1、 同土師器坏蓋片1、同 坏身片1、同磚片2、 掘立柱建物整地土出土 須恵器坏蓋片1、同軒 丸瓦片1	10	平成28年度企画展 「国指定史跡二子塚古墳 と大方墳の時代」 [展示期間] 2016(平成28)年10月1日～2016(平成28)12月4日
3	八尾市立歴史民俗資料館指定 管理者 公益財団法人 八尾 市文化財調査研究会 [期間] 2016(平成28)年9月16日～ 2016(平成28)年12月9日	新沢千塚126 号墳	復元模造品 金製方形板1、金製 垂飾付耳飾1、金製 螺旋状指輪1、金製 指輪1、銀製螺旋状 指輪1	5	平成28年度特別展 「河内の群集墳を探る」 [展示期間] 2016(平成28)年10月8日～2016(平成28)年11月28日

4	天理市教育委員会 [期間] 2017(平成29)年1月30日～ 2017(平成29)年3月17日	藤原京跡(右京五条四坊)	須恵器10、土師器5	15	平成28年度冬の文化財展 第II部「下ツ道-京奈和道 のご先祖様」 [展示期間] 2017(平成29)年2月4 日～2017(平成29)年3 月5日
5	奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館 [期間] 2017(平成29)年4月1日～ 2018(平成30)年3月31日	四条遺跡、 藤原京跡(右京五条四坊)	四条遺跡 銅滓付須恵器3、フ ィゴ羽口27、鉄滓一 括、ガラス滓2 藤原京跡 土馬8、てづくね土 器8	49	常設展示 [展示期間] 2017(平成29)年4月1 日～2018(平成30)年3 月31日
6	奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館 [期間] 2017(平成29)年4月4日～ 2017(平成29)年6月30日	中曾司遺跡、 上ノ山遺跡、 坪井・大福遺 跡	中曾司遺跡 建物を描いた絵画 土器1、竜を描いた 絵画土器1 上ノ山遺跡 竜を描いた絵画土 器1、水鳥・スッポ ンを描いた絵画土 器1 坪井・大福遺跡 人物を描いた絵画 土器1	5	平成29年度春季特別展 「新作発見！弥生絵画－ 人・動物・風景－」 [展示期間] 2017(平成29)年4月22 日～2017(平成29)年6 月18日
7	(医法)南風会 [期間] 2017(平成29)年4月1日～ 2018(平成30)年3月31日	五井遺跡	土師器(壺1、高壺1、 甕1、直口壺1、広口 壺1、小型丸底壺1、 小型丸底鉢1)	7	病院1階ロビーにて展示 [展示期間] 2017(平成29)年4月1 日～2018(平成30)年3 月31日

(2) 資料の掲載(平成28年度許可分)

No.	貸出先	資料名(写真デジタルデータ等)	点数	掲載書籍等
1	株毎日文化センター	新沢千塚古墳群航空写真	1	歴史講座広報写真
2	株はる制作室	藤原京復元模型	1	笠倉出版社発行『平成版おとなの 歴史「謎多き古代史をめぐる』』
3	菱三印刷株	新沢千塚126号墳復元模造品、新沢 千塚古墳群分布図	2	奈良県地域振興部文化財資源活 用課発行『奈良県の文化資源』
4	株奈良新聞社企画部なら リビング	深田池、植山古墳、丸山古墳	3	推古女帝を中心とする日本遺産 関連記事
5	朝日新聞出版	横大路航空写真	1	『飛鳥むかしむかし』飛鳥誕生編
6	株グレイル	藤原京復元模型	1	株宝島社発行別冊宝島『万葉集と は何か』(仮称)
7	株吉川弘文館	藤原京復元模型	1	株吉川弘文館発行『ここまでわかつ た飛鳥・藤原京』

8	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	植山古墳 航空写真近景、墳丘北西周壕石敷検出状況、東石室全景、西石室玄室、東石室出土金銅製歩搖付飾金具、東石室出土三輪玉、西石室出土須恵器 菖蒲池古墳 石室内家形石棺、5区墳丘南西隅完掘状況、9区石敷(0904SX)と掘割・掘立柱建物(0907SB)、10区墳丘北東隅完掘状況 五条野宮ヶ原1・2号墳 五条野宮ヶ原1号墳石室墓擴掘方、五条野宮ヶ原2号墳石室墓擴掘方	13	平成28年度秋季特別展『蘇我氏を掘る』図録等
9	株ユニフォトプレスインター・ナショナル	藤原京復元模型	1	株エデュケーションナルネットワーク発行『中学受験新演習社会小5実力アップ問題集』
10	株オフィス303°	水洗式トイレ遺構	1	小中学生対象教育用副教材書籍『くらしをつくる まちのインフラ大図鑑』
11	株洋泉社	丸山古墳航空写真	1	洋泉社『歴史REAL 天皇家をめぐる争乱の古代史』
12	株新泉社	丸山古墳航空写真	1	森浩一著作集第5巻『天皇陵への疑惑』
13	(有)オフィス・イディオム	藤原京復元模型	2	株学研プラス発行『ヒストリカ』
14	株グレイル	植山古墳航空写真	1	株宝島社発行『新解釈 日本書紀』
15	株第一学習社	藤原京復元模型	1	高等学校用日本史副教材『最新日本史図表』
16	太子町教育委員会	菖蒲池古墳 全景、石室残存状況、石室内の家形石棺、5区墳丘南西隅完掘状況(南西から・南東から)、6区上段墳丘検出状況、10区掘割検出状況、掘割埋土出土須恵器杯蓋片2、同土師器坏身片、同磚片2、掘立柱建物整地土出土軒丸瓦片3、同須恵器杯蓋片1 植山古墳 航空写真3	19	平成28年度企画展「国指定史跡二子塚古墳と大方墳の時代」広報等
17	八尾市立歴史民俗資料館 指定管理者 公益財団法人 八尾市文化財調査研究会	新沢千塚126号墳出土品(復元模造品)2 金製方形板・金製螺旋状垂飾・金製垂飾付耳飾、金製腕輪・銀製腕輪・金製指輪・銀製指輪・金製丸玉・銀製丸玉 新沢千塚古墳群遠景 新沢千塚126号墳棺内出土状況(復元・加工写真)	4	平成28年度特別展『河内の群集墳を探る』図録等
18	一般社団法人 角川文化振興財団	新沢千塚126号墳出土品(復元模造品) 金製方形板、花弁方装飾付金製指	8	『発見・検証 日本の古代』第2巻

		輪、螺旋状金製指輪、金製垂飾付耳飾、金製螺旋状垂飾、ガラス製碗、ガラス製皿、熨斗		
19	(株)かみゆ	藤原京復元模型2	2	学研発行『よくわかる 日本の城』
20	一般社団法人 角川文化振興財団	南山4号墳 主体部、轡、動物形異形高坏	3	『発見・検証 日本の古代』第2巻
21	(株)ベネッセコーポレーション	藤原京復元模型	1	『2016年度 進研模試 高2センター試験早期対策模試(日本史)』
22	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	藤原京復元模型	1	『An Illustrated Companion to Japanese Archaeology』
23	橿原市上下水道部下水道課	藤原京跡(右京九条四坊) 出土水洗トイレ、出土籌木、出土水洗トイレ復元イラスト	3	下水道課実施啓発業務『ふれあい いきいき祭り 出前講座』
24	(株)ネクサス	藤原京復元模型	1	テレビ東京系列『開運!なんでも鑑定団』
25	毎日新聞社奈良支局	歴史に憩う橿原市博物館ロビー展 『発掘調査速報 藤原京右京五条七・八坊、慈明寺遺跡の調査』に係る「展示パネル04 埋没古墳」	1	毎日新聞奈良版
26	一般社団法人放送大学教育振興会	藤原京復元模型	1	放送大学印刷教材『日本の古代中世』
27	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	新沢千塚126号墳出土副葬品(復元模造品)	1	特別展『宗像・沖ノ島と大和朝廷』図録等
28	(有)青垣出版	曲川遺跡 ミヤケ地区土器棺墓出土状況、縄文時代晚期石器、木製漆塗り腕輪 藤原京右京九条三坊下層遺跡 土器棺墓出土状況、土器棺墓2・ピット群出土状況 観音寺・本馬遺跡 河川跡で検出した鰐遺構	6	『奈良県の縄文遺跡』
29	(株)イーノ	歴史に憩う橿原市博物館常設展示室写真	1	『りるぶ』1月号
30	藤井寺市教育委員会	植山古墳	1	藤井寺市遺跡ガイドブック NO.14『終末期古墳と初期寺院の造営を考える』
31	(有)青垣出版	観音寺本馬遺IV区南西部根株出土状況	1	『奈良県の縄文遺跡』
32	大韓民国 百済世界遺産センター	東池尻・池之内遺跡、大藤原京左京五条八坊発掘調査位置図、同遺構平面図	2	百済文化アーカイヴ構築学術研究『日本のなかの百済関連遺跡アーカイヴ構築 研究報告書』
33	奈良県地域振興部文化資源活用課	歴史に憩う橿原市博物館常設展示室写真	1	奈良県歴史文化資源データベースホームページ
34	天理市教育委員会	藤原京右京五条四坊調査区全景	1	平成28年度冬の文化財展第II部 「下ツ道-京奈和道のご先祖様-」 展示パネル
35	(株)グレイル	藤原京復元模型	1	辰巳出版株『地形と海路から解き明かす!あなたの知らない古代史』
36	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	坪井・大福遺跡 人物を描いた絵画土器2	10	平成29年度春季特別展 「新作発見!弥生絵画-人・動」

		中曾司遺跡 建物を描いた絵画土器4、竜を描いた絵画土器 上ノ山遺跡 竜を描いた絵画土器、水鳥・スッポンを描いた絵画土器2		物・風景」図録等
37	(株)アプロ	藤原京復元模型	1	愛媛県教育委員会発行『愛媛県中学校社会自主学習シート』
38	(株)エヌ・アイ・プランニング	歴史に憩う橿原市博物館外観・内観	2	奈良県公式観光サイト「あおによし奈良旅ネット」
39	(株)吉川弘文館	藤原京復元模型	1	『人物叢書 柿本人麻呂』
40	(株)産業経済新聞社	藤原京復元模型	1	国土交通省近畿地方整備局制 中学生向け副読本『近畿の道路』 国土交通省近畿地方整備局ホームページ
41	東京書籍(株)	藤原京復元模型	1	『デジタル国語便覧(古典文学編・近代文学編)』
42	橿原市世界遺産推進課	史跡菖蒲池古墳 家形石棺、7区北壁にみる墳丘築造過程	2	広報かしはら平成29年5月号
43	(株)英俊社	橿原遺跡航空写真	1	『2018年度受験用 関西大学北陽中学校』
44	(医法) 南風会	五井遺跡(空中写真、竪穴住居出土状況、槽出土状況)、藤原京説明パネル2、遺跡分布図パネル	6	病院1階ロビーにて展示

12. 刊行物一覧

- ・平成28年度夏季企画展パンフレット『茶の愉~今井・京・堺~』(2016(平成28)年7月8日 1,200部)
- ・平成28年度秋季企画展パンフレット『シリーズ「千塚」1 巨勢山古墳群』(2016(平成28)年10月14日 1,200部)
- ・平成28年度博学連携企画展パンフレット『高校生、石で肉をさばいてみました!』(2017(平成29)年1月31日 1,000部)
- ・図録 第8冊 平成29年度春季特別展『大海人皇子 天皇への道』(2017(平成29)年3月31日 200部)

13. 出前講座、講師派遣等

出前講座

- ・「古代展への歴史講話」 濱口和弘
場 所 橿原市立畠傍東小学校
開催日 2016(平成28)年5月30日(月)

聴講者 5年生・6年生 104人

・「橿原の歴史を問う」 松井一晃

場 所 ポレポレ白樺コンフォート

開催日 2016（平成28）年12月11日（日）

聴講者 18人

講師派遣

・古墳現地講義

場 所 菖蒲池古墳、沼山古墳、小谷古墳

開催日 2016（平成28）年8月5日（金）

講 師 松井一晃

対 象 明治大学文学部考古学専攻2年次選択科目「考古学実習Ⅰ」

・古墳現地講義

場 所 沼山古墳、岩船、小谷古墳、宣化天皇陵、杵山古墳

開催日 2016（平成28）年9月22日（木）

講 師 松井一晃

対 象 古代学友の会（兵庫県川西市）

・「橿原市の飛鳥時代」

場 所 当館

開催日 2016（平成28）年10月7日（金）

講 師 松井一晃

対 象 八尾市教職員組合内八尾市退職教職員の会

・全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第29回研修会に伴う新沢千塚古墳群解説及び歴史

に憩う橿原市博物館展示解説

場 所 当館及び史跡新沢千塚古墳群

開催日 2016（平成28）年10月21日（金）

講 師 松井一晃

対 象 全国公立埋蔵文化財センター職員

・2016（平成28）年度特別展「河内の古墳群を探る」に伴う「千塚サミット」

場 所 高安コミュニティーセンター

開催日 2016（平成28）年11月3日（祝・木）

講 師 濱口和弘

演 題 「新沢千塚古墳群」

・竹内街道歴史資料館企画展歴史講座

場 所 太子町竹内街道歴史資料館講座室

開催日 2016（平成28）年11月10日（木）

講 師 松井一晃

演 題 「菖蒲池古墳と飛鳥地域の方墳」

14. 利用案内

所在地：〒634-0826 奈良県橿原市川西町858 番地の1

TEL : 0744-27-9681 FAX : 0744-26-1114

URL : <http://www.city.kashihara.jp/hakubutsukan/>

開館時間：午前9時00分～午後5時00分（入館受付は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝祭日の場合は翌平日。）及び12月27日～1月4日

観覧料：

	大 人	学 生 (高校・大学生)	小 人 (小・中学生)
個 人	300 円	200 円	100 円
団 体 (30人以上)	270 円	180 円	90 円
団 体 (100人以上)	210 円	140 円	70 円

交通：公共交通機関

近鉄：橿原神宮前駅下車（西出口） 徒歩30分

奈良交通バス：橿原神宮前駅西口のりば

「近鉄御所駅、イオン、観音寺古作」行「川西」下車すぐ

車利用の場合

京奈和自動車道「橿原北 IC」から7.2km・「御所 IC」から2.3km

大和高田バイパス「新堂ランプ」から2.8km

15. 条例、規則

歴史に憩う樅原市博物館条例

平成 25 年 12 月 26 日

条例第 30 号

(設置)

第1条 横原市は、郷土の歴史資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図ることにより、市民の郷土に対する理解と知識を深め、もって広く教育、学術及び文化の発展に資するため、歴史に憩う樅原市博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
歴史に憩う樅原市博物館	樅原市川西町 858 番地の 1

(管理)

第3条 博物館は、樅原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)がこれを管理する。

(事業)

第4条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究に関すること。
- (3) 資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (4) 資料に関する講演会、研究会、講習会等の開催に関すること。
- (5) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等に関すること。
- (6) 他の博物館、学校、学会その他の関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(入館の制限)

第5条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者又は入館した者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否し、又は退館させることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれがある者又はこれらのおそれがある物品を携帯する者
- (2) 動物類(身体障害者補助犬法(平成 14 年法律第 49 号)に規定する身体障害者補助犬及び教育委員会が特に必要と認める動物類を除く。)を携帯する者
- (3) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認める者
- (4) 博物館の施設又はその附属設備、備品、資料等を滅失し、又は毀損するおそれがあると認められる者
- (5) 博物館の管理の業務に従事する者の指示に従わない者
- (6) 前各号に掲げるもののほか、管理上支障があると認める者

(撮影等の許可)

第6条 博物館において資料の撮影、模写、模造等(以下「撮影等」という。)の行為をしようとする者(以下「申請者」という。)は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、資料の管理上支障があると認めるときは、前項の許可に条件を付すことができる。

3 申請者は、撮影等の許可を受けた目的以外に資料を使用し、又はその使用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(観覧料)

第7条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 市長は、観覧者が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(1) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けた者及びその介護を行う者

(2) その他市長が特別の理由があると認める者

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

第8条 博物館に歴史に憩う橿原市博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、関係行政機関の職員並びに地域の代表者の中から教育委員会がこれを任命する。

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 第1項から前項までに定めるものほか、協議会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則 抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。ただし、第8条及び附則第3条の規定は、規則で定める日から施行する。

(準備行為)

第2条 この条例の施行に際し必要な手続その他の準備行為については、この条例の施行前においても、行うことができる。

附 則(平成27年条例第5号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成27年条例第23号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

別表(第7条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体
大人	300 円	左欄に掲げる額の 10 パーセントを減じた額とする。ただし、100 人以上の団体の場合は、左欄に掲げる額の 30 パーセントを減じた額とし、これらの額に 10 円未満の端数がある場合については、その端数金額を切り捨てた額とする。
学生	200 円	
小人	100 円	

備考

- (1) 学生とは、高等学校、大学及びこれらに準ずる学校の生徒及び学生をいう。
- (2) 小人とは、小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の児童及び生徒をいう。
- (3) 団体とは、30 人以上で責任者が引率している場合をいう。ただし、30 人未満であっても県内の小学校、中学校、高等学校及びこれらに準ずる学校の児童又は生徒を当該学校の教育職員が引率している場合は、団体とみなす。

歴史に憩う樋原市博物館管理運営に関する規則

平成 25 年 12 月 27 日
教育委員会規則第 8 号

樋原市千塚資料館管理運営に関する規則(平成 22 年樋原市教育委員会規則第 10 号)の全部を改正する。

(趣旨)

第 1 条 この規則は、歴史に憩う樋原市博物館条例(平成 25 年樋原市条例第 30 号。以下「条例」という。)第 9 条の規定に基づき、歴史に憩う樋原市博物館(以下「博物館」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、入館は、午後 4 時 30 分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、樋原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認めるときは、博物館の開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 3 条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合は、その日以後で最も近い休日でない日)

(2) 1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 27 日から同月 31 日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、博物館を臨時に開館し、又は休館することができる。

(遵守事項)

第 4 条 博物館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 所定の場所以外に博物館備付けの図書を持ち出さないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食をしないこと。

(3) 館内で喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(4) 許可を受けないで物品の販売、展示その他営利行為をしないこと。

(5) 許可を受けないで印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示しないこと。

(6) その他管理上必要な係員の指示に従うこと。

(観覧料の徴収等)

第 5 条 条例第 7 条第 1 項の観覧料は、観覧券(様式第 1 号)の発行により徴収する。

2 教育委員会が特に必要と認めるときは、前項の観覧券に代えて別の様式を定め、これにより観覧料を徴収することができる。

(観覧料の減免)

第 6 条 条例第 7 条第 2 項第 1 号の規定に該当する者は、観覧料の 5 割に相当する額を免除するものとする。

2 条例第7条第2項第2号の規定に該当する者及びその免除の割合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市内に居住する又は市内の学校等に通学等をする条例別表備考第2号に規定する小人で土曜日に入館するもの 10割
- (2) 教育上の目的のために、園児、児童、生徒又は学生を引率して入館する学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校の教職員 10割
- (3) 教育上の目的のために、児童を引率して入館する児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業に従事する職員 10割
- (4) 教育上の目的のために、幼児又は児童を引率して入館する児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設の職員 10割
- (5) 公の目的で入館する国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体の職員 10割
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める者 市長が別に定める割合
(優待券等)

第7条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。
(館外貸出し)

第8条 博物館が所蔵する条例第1条に規定する資料(以下「資料」という。)の館外貸出しを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した館外貸出許可申請書を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
 - (2) 借用資料の名称
 - (3) 借用目的
 - (4) 借用期間
- 2 教育委員会は、前項の館外貸出許可申請書の提出を受けた場合において、当該申請者が次の各号のいずれかに該当し、かつ、当該館外貸出しが博物館の業務に支障がないと認めるときは、必要な条件を付して前項の許可をすることができる。

(1) 博物館法(昭和26年法律第285号)第10条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定による指定を受けた施設

(2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

3 教育委員会は、第1項の許可をしたときは、館外貸出許可書(様式第2号)を当該申請者に交付するものとする。

4 第1項の許可の期間は、3月を超えることができない。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(館外貸出しの許可の取消し)

第9条 教育委員会は、前条第1項の許可を受けた者が虚偽の申請により許可を受けたとき、又は同条第2項の条件若しくは教育委員会の指示に従わないときは、その許可を取り消すことができる。

(資料の撮影等)

第10条 博物館が所蔵する資料の撮影等の行為をしようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料等撮影許可申請書を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、教育委員会がその申請を不要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 撮影資料の名称
- (3) 撮影目的

2 教育委員会は、前項の許可をしたときは、資料等撮影許可書(様式第3号)を当該申請者に交付するものとする。

(寄贈)

第11条 博物館に資料を寄贈しようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料等寄贈申請書を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、教育委員会がその申請を不要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 資料の名称及び点数

2 教育委員会は、前項の規定により寄贈を承認した資料の引渡しを受けたときは、資料受領書(様式第4号)を当該寄贈をした者に交付するものとする。

(損害の賠償)

第12条 博物館の施設又はその附属設備、備品、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第13条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

様式第1号（第5条関係）

観覧券

歴史に憩う樺原市博物館 観覧券 No.	歴史に憩う樺原市博物館 観覧券 No.
---------------------------	---------------------------

歴史に憩う樺原市博物館

観覧券

年　月　日

区分	観覧人数	観覧料	金額
大人	人	円	円
学生	人	円	円
小人	人	円	円
教職員等引率者	人		
観覧人数合計	人	観覧料合計	円

所在地

団体名

代表者

様

上記の観覧料合計金額を領収しました。

領収日付印

様式第2号（第8条関係）

第 号

年 月 日

資料等館外貸出し許可書

様

樫原市教育委員会教育長 印

年 月 日付けで申請のあった資料等館外貸出しについては、次のように許可する。

品目	点数	備考
貸出しの場所		
期間		
許可条件		

様式第3号（第10条関係）

第 号

年 月 日

資料等撮影許可書

様

樞原市教育委員会教育長 印

年 月 日付けで申請のあった資料撮影等については、次のとおり許可する。

利用目的			
利用期間			
利用場所			
利用資料	資料名	数量	備考
許可条件			
備考			

様式第4号（第11条関係）

第 号

年 月 日

資料等受領書

様

権原市教育委員会

教育長 印

あなたから歴史に懇う権原市博物館へ寄贈された下記の資料等を受領しました。

品目	点数	期間	備考
その他			

歴史に憩う樅原市博物館 館報3 平成28年度

編集・発行 歴史に憩う樅原市博物館

2017（平成29）年8月31日